

むつ市と八学大 防災士養成協定

定期的に講座開催へ

むつ市と八戸学院大は3日、「防災士の養成及び育成に関する協定」を締結した。同大がこれまで八戸市で実施していた養成講座を、むつでも開催。下北地方で防災のリーダーを育成すると

ともに地域全体の防災意識向上を図る。

同大によると、2018年から防災士の養成講座を八戸で開催してきた。今回の協定締結により、今月11、12の両日、むつで開催する。現時点で高校生や大学生を中心に62人が申し込んでいる。

これまで青森県内の養成講座は大学や短大がある八戸、青森、弘前の3市で実施されてきた。それ以外で開催されるのはむつが初めてという。

むつ市役所で開かれた締結式では、山本知也市長と小林眞学長が協定書を交わした。

小林学長は「日ごろから下北は防災意識が高い。これを皮切りに他の地域にも開催の機運が広がることを願いたい」と期待を込めた。

(林泰輔)

協定を結んだ、小林眞学長(左)と山本知也市長
113日、むつ市役所

